

# 令和3年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

|                 |                          |              |           |      |      |         |       |
|-----------------|--------------------------|--------------|-----------|------|------|---------|-------|
| 事業名<br>(個別メニュー) | 令和元年東日本台風災害資料等收集整理       | 事業経緯         | 継続        | 実施体制 | 主催   | 担当所属    | 企画調査室 |
| 事業名<br>(大項目)    | 国土の利用・整備・保全に関する資料等收集整理事業 | 分類名<br>(中項目) | 資料収集・編纂事業 |      | 事業区分 | 調査、資料収集 |       |

## 1. 事業目的

令和元年東日本台風(19号)により、北陸管内の信濃川水系千曲川(長野県)では直轄堤防が破堤するなど、地域に甚大な被害を与えた。近年、激甚な災害が広域的に頻発する中、ハード対策はもとよりソフト対策の充実は効果的な防災・減災を進めるうえで重要な役割を果たすものとなっている。

第25回「北陸地域の活性化」に関する研究助成事業に応募のあった千曲川災害に関する事業は、当該災害を整理・分析するとともに既往災害をレビューするものであり、千曲川や長野をよく知る学識経験者や地域の団体が協力して取り組むことから、効率的な事業推進や確かな成果が期待され、その成果はソフト対策検討の重要な基礎資料となる。

令和3年度も引き続き、2事業について、「国土の利用・整備・保全に関する資料等收集整理事業」として支援する。

## 2. 事業実施体制

- ① 信州大学、愛知工業大学、立正大学等
- ② 歴史的な水害史料活用研究会(信州大学、長野高専、長野県立歴史館等)

## 3. 事業実施概要

### ① 千曲川水害デジタルアーカイブ構築・利活用

- 被害写真、インタビュー動画等を収集
  - Web-GISで管理・保存・発信するデジタルアーカイブを構築
- 「『猪(しし)の満水』(令和元年東日本台風)災害デジタルアーカイブ」を10月14日にホームページで一般公開
- 「災害アーカイブ展」を②と連携し開催(R3.10月～12月 長野市役所 他)

### ② 歴史的な水害を伝える史料活用

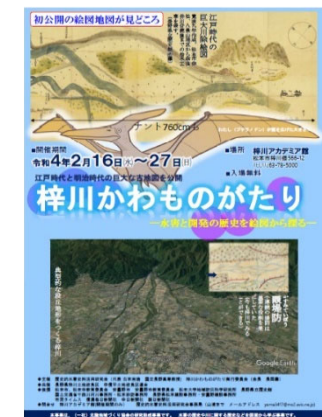
- 歴史的な水害史料(文書、図面等)の収集
- 史料のデジタル化とデータ整理 → 研究・学術機関、行政での活用
- 災害伝承、防災講座の実施
- 歴史的な水害史料のパネル展示の実施  
(R3.10 長野市役所、R3.12 県立長野図書館)
- 講演会の開催(R3.5・7・11月)

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

多発する自然災害に対応し、災害被害の減少、防災業務へ活用できる情報収集が喫緊の課題となっている。令和元年台風19号で、千曲川流域はかつてない規模の大水害が発生した。記録的な被害と被災地の様子、千曲川の治水対策の歴史等に関する資料を収集しデジタルアーカイブとして公開することで、住民が災害を「自分ごと」として捉え、地域全体の防災意識の高まりが期待できる。さらに過去の災害を学び、語り継いでいく仕組みを大学、地域、博物館などが連携し構築することが望まれる。



「災害アーカイブ展」  
(長野市役所)



絵図・地図展示、講演会  
(R4.6月に開催延期)